

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ

A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は
決算報告時に記
載（配付申請時
は記載不要）

【様式1】

令和5年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード)

※校園コードを必ず入力してください。

学校名

大宮小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額

円

→ 決算額

円

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
350,000	+	16学級	+	7学級	×	29,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額

=

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ①本校アンケート調査で「学校は多様な体験活動を実施している」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を、85%以上にする。
- ②小学校学力経年調査で「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。
- ③令和4年度末の大阪市学力経年調査及び本校アンケート調査で学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30分より少ない」と答える児童の割合を前年度よりも減少させる。（令和3年度は経年調査26.7%）
- ④学びに関連する様々な学習履歴や行動履歴などの教育ビッグデータを収集し、毎学期ごとに見直し、活用していく。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①企業の出前授業やオンライン授業、外部講師の招聘など、子どもの内面に根ざした道徳性の育成に努めるとともに、職業観、本校への誇り、地元への愛着等を育てる。
- ②全学年で計画的にICTや思考ツールなどを活用して協働学習や、主体的・対話的で深い学びの成立をめざした授業実践を行う。
- ③家庭学習・自主学習の定着を図るために、全校児童で取り組む。手本となるような自主学習ノートをも1回玄関や教室、廊下などに掲示し、「家庭学習・自主学習の手引き」として活用する。
- ④全学年で、日常的にICTを活用した授業を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの視点から学習活動の充実を目指す。
- ⑤大学やOB校長、教育センター等と連携して、校内研修・研究の実をあげるとともに、校内授業研究を通して教員の資質向上に努める。さらに、若手教員の指導力向上を目指して組織を生かした育成に取り組む。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

取組 ①本校アンケート調査で「学校は多様な体験活動を実施している」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を、85%以上にする。 ②学力経年調査で「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。 ③令和5年度末の学力経年調査で及び本校アンケート調査で「学校の授業時間以外に、ふだん1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30分より少ない」と答える児童の割合を前年度よりも減少させる。（令和4年度は経年調査27%） ④外遊びや体を動かすことの推奨を図るために、年2回以上の企画（「大宮スポーツ交流会」「なわとび週間」等）を行う。 ⑤学びに関連する様々な学習履歴や行動履歴などの教育ビッグデータを収集し、毎学期ごとに見直し、活用していく。	
指標に対する達成状況(取組完了時)	達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

R4年度の学力経年調査では、全学年が全教科において全国平均を上回った。4・5・6年の標準化得点については、同一母集団で、国語科はすべて上回ったが、学年によっては下回ったものもある。基礎基本を繰り返しながら、学習したことを生かすことができるように、教科横断的な学びで他教科・領域へと広げる工夫が必要である。ここ数年取り組んできた習熟度別指導、ICTの活用、地域人材を活用した体験活動、自主学習の取り組みなどの成果と課題を踏まえ、授業改善や効果的な指導の在り方についてさらに研究・研修を積み上げていく必要がある。
--

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・道徳の時間を要として、教育活動全体を通して道徳教育に取り組む。 ・人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりについての実践を行う。 ・体験活動を重視し、地域の方々とふれあえる活動を工夫する。	委員会使用欄 	達成
①予算内訳 7-1 報奨金 ・お話し 講師謝礼金 @4,300×2時間=8,600円 ・ブックトーク講師謝礼金 @4,300×6時間=25,800円 ・生け花体験講師謝礼金 @4,300×2時間+540(交通費)=9,140円 ・茶の湯体験講師謝礼金 @4,300×3時間=12,900円 ・そろばん体験講師謝礼金 @4,300×3時間=12,900円 合計 69,340円		
②決算内訳		
(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・ICT機器を活用した授業の実施 ・学びを支える教育環境の整備 【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・跳ぶ、投げる、あぐりよく、調整力、筋力などを伸ばすため、運動器具を整備するとともに、体力・運動への関心を高める掲示やコーナーを設ける。	委員会使用欄 	達成
①予算内訳 17-2校用器具費 ・大型テレビ @150,000×1=150,000円 ・タブレットPC @70,000×3=210,000円 ・セストゴール @50,310×2=100,620円 合計460,620円 10-6建物修繕料 ・黒板取替 @100,000×2=200,000円 ・LED照明器具取替 @156,080×1=156,080円 合計356,080円		
②決算内訳		
(3)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・研修の実施	委員会使用欄 	達成
①予算内訳 7-1報奨金 ・講師謝礼金 @7,100×12+460×6=87,960円 @4,300×10=43,000円 合計130,960		
②決算内訳		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
 委員会使用欄は空欄としてください。